



表現する力

令和7年1月31日

園長 眞家 順子

冬の寒さに負けず園内外で、子どもたちが元気に遊ぶ声が響いています。子どもたちは、毎日の好きな遊びの中で、いろいろな役になり、動いたり思いついた言葉を言ったりして、自分のイメージする世界を楽しんでいます。以前、年少児が、自分で色塗りをしたチョウのお面を付けて、手を羽に見立て羽ばたきながら「ちょー！」と、叫び合っていました。よく鳴き方を考えたものだと感心すると共に、かわいらしい表現に思わず微笑んでしまいました。年少児は、目の前でチョウが空に飛び立つ様子を見ていました。チョウの鳴き方は分からないけれど、一緒にチョウになりきって遊んでいる友達に話しかけたい思いが、思わず「ちょー！」と鳴く表現になったのでしょう。



幼稚園では遊びを通して、感じたことや考えたことを自分なりに表現することを大切にしています。子どもたちが心を揺らす直接体験を大切に、一人一人が表現する姿を受け止め、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする保育に務めています。創造性は、小学校以降の音楽や造形、身体等の表現の基礎となるだけでなく、自分の気持ちや考えを表現する学習全般の素地となるからです。

日々のごっこ遊びの中で楽しんできている表現を、年少児は表現遊び、年中児は劇遊び、年長児は劇として、子ども会で参観していただきます。年少児の表現遊びは、個々の身体表現を教師が受け止めながら、学級のみinnでお話の世界を楽しんでいます。年中児の劇遊びは、自分の動きを楽しみながらも、同じ役の友達と一緒に台詞のやりとりや、話を進めて行くことを楽しんでいます。年長児の劇は、自分で考えた台詞や動きを、仲間と相談しながら、劇を学級の友達と作りあげていくことを楽しんでいます。また、役を一人で演じ、大道具や小道具、衣装など、劇に必要な物も自分たちで気付いて作っています。



子ども会では、子どもたちの素朴な表現を、保護者の皆様に見守っていただき、感じたことを言葉にして伝えていただくことで、子どもたちは、より表現する楽しさや伝わることの嬉しい気持ちが高まると思います。温かく見守っていただけますよう、よろしくお願いいたします。

今月の学年目標



- ・友達と一緒に遊ぶことを楽しむ中で、自分の思いを動きや言葉で表す。
- ・役になりきったり、学級のみinnと一緒に動いたりして、表現遊びを楽しむ。



- ・自分の思いを伝えたり、友達の話を聞いたりして一緒に遊ぶことを楽しむ。
- ・劇遊びをする中で、友達と一緒に表現したり、声を合わせたりすることを楽しむ。

- ・友達とよさを認め合いながら遊びや生活を進めていく中で、自分たちの成長を感じる。
- ・学級やグループの友達と力を合わせて劇に取り組み、やり遂げた達成感を味わう。

